

JAMトピックス

JAM第20回定期大会開催

議席奪還へギアチェンジ

「田中ひさや」
必勝体制



組織の存亡をかけて、「田中ひさや」を国会へ送り出す
団結してガンバロー！

JAM第二十回定期大会が八月三十、三十一の両日岐阜市で開かれ、「二〇一九年度活動方針」や「予算」、「二〇一八年春季生活闘争の総括」、国会でのJAMの議席奪還の取り組みを示した「政策実現活動に関する件」など九本の議案を審議、九人の代議員からの意見・要望を受け、それぞれ満場一致で決定された。

安河内賢弘JAM会長は「七月の西日本豪雨災害に際して、息の長い支援を続ける。2018春闘では、昨年引き続き、中小労組が大手労組を上回る賃金改善額を獲得したのは、粘り強く交渉した成果であり、個別賃金要求の神髄で

あると強調した。政策実現活動では、「『田中ひさや』を国会へ送る戦いは組織存亡をかけた戦いで、九月からギヤを一段上げ取り組む」とあいさつでふれた。

全国巡回中の「田中ひさや」候補予定者は、北陸から元気に会場入りし、大会開会前には代議員とツーショット撮影した。あいさつでは「残りあと十一カ月、何としても勝利しなければならない。強い信念で戦いを進めていく」と熱く語った。

第一号議案「二〇一九年度活動方針」では、来年九月にJAM結成二十年を迎えるのに際し、安河内会長が全国百五ある地協と対話した「総対話アクション2018」、ドイツIGメタルから講師を招いて実施した「組織変革ワークショップ」で出された意見などを来年第二十一回定期大会での決議のとりまとめに反映することなどが補強される方針案が示された。

第四号議案「JAM政策実現活動に関する件」では、JAMの支持・協力政党を「国民民主党」を基軸に連合が支援する政党とし、来年の参議院選挙で「田中ひさや」は、「国民民主党」の比例代表選挙候補者とするなど満場一致で決めた。

